

雑草ってなに？ (2013 年 10 月～2014 年 12 月)

<質問>

少し原点に返って、「雑草」そのものについて皆さまのご意見をお伺いします。

「雑草」についていくつかの定義がありますが、皆さまの中では「どのようなものが雑草」でしょうか。高尚（？）な「哲学」でもかまいませんし、我が家の庭のこれが気に食わない、とか、あの公園の花壇に生えるあの草が、など、皆様のご意見をお待ちしております。

<回答>

・・・いろいろな『なに？』をいただきました。論文のように論旨をたててお書きくださった方もおられました。周りの人たちに尋ねてくださった方もおられました。以下にお寄せいただいた『雑草ってなに？』の一部を抜き出しました。

この『雑草ってなに？』が議論の次のステップになることを祈念しています。

なお、後半の「雑草の定義」は「雑草学総論」（伊藤操子著・養賢堂）の 14 ページから引用しました。いわゆる『大家（たいか）』の雑草の定義にはどうやら方向性があるようです。

- ・「私の住んでいた地域では草刈りや草むしりをしている人は見かけたことがありません。もちろん私も草むしりなどしたことがなく、雑草で困ったことはありませんでした。」
- ・「そんな私が生まれて初めて雑草のすごさを知ったのはマイホームを建て庭を芝生にしてからです。次から次へと雑草が生えてきて芝生が見えなくなりました。草むしりの概念がなく、荒れ放題荒れました。何千何万かという毛虫が発生し家に押し寄せたり、カメムシの大量発生で家から出られなくなることもありました。仕方なく草刈り機を購入、自分の庭を草刈りする日々・・・数年で庭はコンクリート舗装の駐車場に変わりました。雑草に恐れおののき対決しましたが負けたわけです。」
- ・「子供のころ雑草とたわむれて遊んだ経験はとてもあたたかく、懐かしいものです。」
- ・「私は緑が多いところが大好きですが、その緑には雑草も含まれています。」
- ・「特に道路場面の草種はある程度決まっております、セイタカアワダチソウ、ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギクなどのキク科雑草、その他クズ、カラムシ、イタドリ、ヨシ、セイバンモロコシ・・・いづれにしても大型で草刈をすると重量が重くなるものに困っているようです。雑草も緑ですので、雑草＝一律悪者という認識はありませんが、場所や場面によって異なると思います。『雑草』という文字からイメージする先入観が＝汚く臭いゴミになってしまっているのではないのでしょうか。」
- ・「畑に発生する作物以外の植物は雑草と考えています。畦に生えるヨメナやタンポポ、オオイヌノフグリなどは愛する野草です。」
- ・「今では『自分にとって邪魔者（トゲなど害があるもの）だと思ふ植物は雑草。でも、きれいな花をつける一般的に雑草と言われている植物でも、大切にしたい者は雑草ではない。』そのような感覚で、区別して園芸活動などを行っています。」
- ・「どこにでも生える邪魔な草。道端に生えている強い草。ところ構わず生えている草」
- ・「邪魔な草で不要なもの。除草剤というのがあるくらいお金をかけてでもなくしたいもの」
- ・「手入れをしなくても育つ植物。ぬいてもぬいても生えてくる草」

- ・「雑草とは、農業および農学における概念であり、本来の栽培目的以外の植物をさす。トマトを栽培しているときにはネギは雑草となり、混植時にはそれに該当しない。環境問題においてはそのときの政治等により変化するものである。個人的には知識のほかにあるもの、つまり新種、未学習のものなど。また、その植物成分中に有効成分が発見された場合には雑草が一変して作物になり、厳密な定義は難しい」
- ・「人の手が加わらなくても、自然の力だけで生育し、繁茂し、自然に逆らわず、対応できる力を秘めた植物」
- ・「刈っても刈っても生えてくる強いイメージ。1週間後に生えてくる」
- ・「目的にかなっていない草」
- ・「場所を問わず、自然発生的にいくらでも増えてくる草種」
- ・「『雑草』の『雑』の漢字の意味はどういう意味があるのだろうか。『純系・雑種』の『雑』や『乱雑』の『雑』などいろんな意味があるように思う。」
- ・「私の雑草の認識は、人間にとって興味のない草の総称だと思っています。問題のある雑草（チガヤ、ヨシ、アシ、クズ）などは、よく知られ名前と呼ぶことが多いと思います。しかしこれらも結局は人の生活に支障の出る場所に生息していれば問題のある草となりますし、通常原っぱに生えていれば雑草としてくくられてしまうのだろうと思います。」

「雑草の定義」（伊藤操子：2004 雑草学総論 養賢堂 東京 のp14から引用）*****

- ・雑草とは人類の使用する土地に発生して人類に直接あるいは間接に損害を与えうるところの植物をいう・・・完全に土地を使用して有利の業を営まんとするに当たりその目的を阻害するが故に芟除するの必要ある植物は全てこれを雑草という・・・（半澤：1910）
- ・所を得ない植物、または望まれないところに生える植物（Blatchley：1912）
- ・他の植物が生えてほしいところに生育する植物（Georgin：1916）
- ・著しく繁茂することによって他のより価値のある植物を放逐する植物（Brenchley：1920）
- ・播種された作物以外のすべての植物（Brenchley：1920）
- ・望まれずそれゆえ破壊されるべき植物（Bailey：1941）
- ・人間の活動によって大きく変形された土地に自然に発生・生育する植物（Harpaer：1941）
- ・農耕地で人間の営んでいる経済行為に相反して、直接または間接に作物を害して生産を減少させ、農耕地の経済価値を低下させる作物以外の草本（荒井：1951）
- ・野生の見苦しい植物、しばしば耕作した土地で見られる（Thomas：1956）
- ・望まれないところに生える植物（アメリカ雑草学会：1956）（Fogg：1945）（Salisbury：1961）二次遷移の先駆種である（Bunting：1960）
- ・人間が攪乱した後の土地に生える機会的な種（Pritchard：1960）
- ・生態的特性から見て、絶えず外的な干渉や生存地の破壊が加えられていないとその生活が成立・存続できないような特殊な一群（笠原：1971）
- ・絶えず攪乱され、物理的な環境要因の明瞭な律動に欠ける、きわめて不安定な環境に生活する一群の植物（河野：1975）
- ・人類の活動と幸福・繁栄（welfare）に対して、これに逆らったりこれを妨害したりするすべての植物（アメリカ雑草学会：1985）